

# 平成21年の今治海上保安部管内での船舶海難及び人身事故の発生概要（速報）

## 1 船舶海難の発生状況

### （1）海難種類別、海難原因別の状況

（単位：隻）

海難種類		衝突		乗揚		転覆		火災		機関故障		推進器障害		その他		合計	
		20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年
海難原因		14	14	7	5	0	3	2	1	5	3	1	1	5	2	34	29
人為的要因	見張り不十分	10	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	9
	船位不確認	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	操船不適切	2	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6
	水路調査不十分	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	居眠り運航	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	整備不良	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	2	2
	気象海象不注意	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	1
	火気取扱不注意	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	機関取扱不注意	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不可抗力		0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	4	4
老朽衰耗		0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0
他船の過失		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
その他		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	2

今治管内における船舶海難の隻数は29隻で、平成20年の34隻と比べて5隻減少した。最近10年間では平成12年の24隻に次ぐ少ない値であった。

これら船舶海難を海難種類別に見ると衝突は14隻で平成20年と同数、乗揚は5隻で平成20年の7隻に比べ2隻減少しており、衝突、乗揚海難で全体の約65%を占めている。

また、海難原因別に見ると見張り不十分9隻、操船不適切6隻、船位不確認3隻、整備不良2隻等、操船者の人為的なミスが要因で発生した事故が23隻で全体の約80%を占めている。

なお、海難に伴う死亡・行方不明者はなかった。

## (2) 船種別の状況

(単位：隻)

種 類	衝突		乗揚		転覆		火災		機関故障		推進器障害		その他		合 計	
	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年
隻数 船種	14	14	7	5	0	3	2	1	5	3	1	1	5	2	34	29
貨物船	3	4	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	6	6
タンカー	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
旅客船	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
漁船	2	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	7
プレジャーボート	6	3	4	0	0	1	2	1	5	2	1	1	4	0	22	8
その他	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4

船種別では、プレジャーボート8隻、漁船7隻で全体の約52%を占めている。

## 2 人身事故の発生状況

(単位：人)

発生年 事故種類	平成20年	平成21年
	合 計	28(12)
海中転落	7(3)	7(2)
負 傷	7(0)	5
病 気	6(1)	3
傷 害	0	0
中 毒	0	0
自 殺	6(6)	8(8)
溺 水	2(2)	4(2)

( )は死亡

人身事故の発生状況は、27人(内死亡12人)となっており、平成20年と比べて1名減であるが、死亡者については同数となっている。